

ディープ・フォーカス

この人に聞く

地域勤労者の労働・生活相談に取り組むため10月5日、「愛媛くらしの相談センター」が松山市宮田町の愛媛労働協会館にオープン。雇用や賃金、年金、多重債務など取り扱いが多岐にわたる。連合愛媛副事務局長を兼ねる渡辺良一センター長に活動実績や将来の方針などを聞いた。

愛媛に暮らす人の生活全般の不安をワンストップで受け付け、解決の糸口を見つけます。連合本部が2006年、地域に顔が見える運動方針を決め、地域の人を支え合う基盤づくりを進めている背景があり、ライフサポート事業として取り組んでいます。悩みに関し、特定非営利活動法人(NPO法人)や、弁護士などの専門家を探し当て

愛媛くらしの相談センター **渡辺**
わたなべ

良一センター長(42)
りょういち



「悩みを抱えている人に、解決の糸口を見つけてあげたい」と語る愛媛くらしの相談センターの渡辺良一センター長

悩み解決へ専門家紹介

老後や介護の心配最多

るまでの窓口として手助けをします。2人の相談員は司法書士やファイナンシャルプランナーの資格を持っています。

相談は1日平均5件で、10月は100件余り。最も多いのは「生活不安」で、老後の暮らしや要介護になった時の心配など。愚痴っぽい内容も少なくはないですが、時間制限せずに話を聞いてあげると、相談者は安心して電話を切ります。逆に言えば、身近な相談相手がない社会なのかと

感じる場面もあります。次に多いのは相続などの金融相談。そして労働や年金、生活保護などが続きます。相談全体の2割が来所による面談です。

と難しく、連携していきたい。もう一つ、来年春をめどに無料の職業紹介事業を考えています。国の認可が必要ですが、ハローワーク(公共職業安定所)の民間版のイメージです。求人情報を集め、カウンセリングも配置し、マンツーマンでより良い就職先を探します。

また面接相談は今、センターのある松山市でしかできないため、来年秋を目標に、分室や支所の形で東予と南予に

1カ所ずつの拠点づくりを進めます。

相続や多重債務、生活保護申請など、複合的な問題が絡まると粘り強い対応が必要になります。相談は匿名で大丈夫ですし、プライバシーも厳守。積極的な相談を待っています。

受け付けは、平日午前9時から午後5時(水曜は午後7時)。専用電話089(915)2400、ファクス089(947)5616。無料。